

Cyoda City Photo Studio 写真館

古代神話の再現に 会場の熱気も最高潮

5月4日、第24回さきたま火祭りがさきたま古墳公園で開催され、過去最多の11万人が来場しました。会場には、

世界遺産サポーターの会のイメージキャラクター「ニニギン」と「コノハちゃん」が着ぐるみとなって登場。世界遺産登録に向けてのPRを行いました。

夜の帳が下りるころ、勇壮な音楽とともにニニギノミコトとコノハナサクヤヒメが登場しました。古代神話を再現した産屋炎上のシーンでは、たいまつを持った2人が産屋に火を放ち炎に包ま

れると、会場の熱気も最高潮に。オワケの臣によるご託宣の後、花火が打ち上げられ、無数の大輪の花が夜空を彩りました。



手作りの花壇に色とりどりの花を

4月27日、みんなでつくる公園整備事業が長野地区の天神公園で行われました。

同事業は、市民、市、テクノホルティ園芸専門学校、ものづくり大学の協働による手作りの公園整備として、平成16年から毎年行っているものです。今回は、満願自治会が同専門学校とともに花壇づくりから取り組み、公園内には5つの花壇に色とりどりの花が植えられました。



夏の夜に飛び交うことを願って

5月17日、古代蓮の里ホテルの川でヘイケボタルの幼虫約1万匹の放流が行われました。これは、古代蓮の里ホテルの会が古代蓮の里にホテルが定着し繁殖することを目指し、市と協働で平成17年から行っているものです。

この日は、会員のほか市内保育園の園児とその保護者らが参加。同会によるオリジナル紙芝居「ホテルの一生」が上演された後、参加者は夏の夜にきれいに光って飛び交ってほしいと願いながら、会員が自宅で育てた幼虫を放流しました。

